

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	福岡療育支援センターいちばん星新宮 放課後等デイサービスいちばん星新宮happiness		
○保護者評価実施期間	令和6年9月30日		～ 令和6年10月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 33名
○従業者評価実施期間	令和6年9月30日		～ 令和6年10月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援している。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援をしている。	・定期的なイベントや季節行事の開催 ・母の会・父の会の実施。 ・茶話会などで、先輩保護者の意見を聞ける機会の設定。	・保護者に対してアンケートを実施して、希望のある内容の行事を企画する。
2	7・8・15 適切な支援の提供、保護者への説明等 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成している。また、日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができています。	・チーム会議で支援内容を協議して、全体会議で共有して統一した支援を行えるようにしている。 ・こどもの小さな変化なども保護者へ細かく伝えるようにしている。 ・伝える際に、言葉だけではなく動画や写真の送付も行っている。	・支援の目標・内容を、全職員が理解し、共有できるようにする。 ・他事業所との連携や情報交換を密に行う。
3	23, 24・25非常時等の対応 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明が出来る。	・防災だよりを配布した。 ・様々な緊急時の対応について、療育に取り入れて訓練を行った。児童と一緒に行った。	・防災だよりは毎年紙面での配布を行っていく。 ・保護者の方にも協力してもらえるような、災害訓練の計画。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保できていない。	・利用児数が多い。 ・車椅子やバギーが大きく、置くスペースがない。 ・収納スペースが少ない。 ・いつか使用するかもしれない物を処分できずに、スペースが狭くなっている。	・部屋を分けて、人数を分散する。 ・整理整頓 ・定期的に不必要な物がないかチェックする。 ・こどもや職員が動きやすい動線や危険予知を考える。
2	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられているとあまり感じられない。職員間での共有が出来ていない。	・多職種で情報共有する時間を確保するのが難しい。 ・専門分野以外の職員への情報伝達が不十分。	・会議方法の検討 ・写真や紙面で、見て理解できるものを作成する。 ・専門的な視点を、他職員へ発信する。
3	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があまりない。	・放課後の時間では交流は難しい。 ・コロナ禍で交流の機会の減少。	・地域の図書館等へ行き、地域のこどもとの交流を図る。 ・長時間の際に出来るイベントを考える。